

社会福祉法人徳島県社会福祉事業団広報紙

かけはし

発行
 利用者支援を通じて笑顔あふれる施設づくりを推進します
 社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

TEL 088-631-1200

FAX 088-631-1300

HP:<http://fukushi-center.jp/honbu/>

E-MAIL:honbu@fukushi-center.jp

第45号

令和4年2月10日

ふらっとKOKUFU開設特集



令和3年9月1日 地域生活支援拠点「ふらっとKOKUFU」事業開始！

ふらっとKOKUFUは、「子どもから大人までの切れ目のない支援」、「総合的な地域生活支援の拠点」、「地域共生の拠点」を目指し、開設しました。「障がい者（児）のライフステージに寄り添い、愛され信頼される支援を実践し、誰もが自分らしく支えあって暮らせる共生社会を地域とともに創る」が基本方針です。

就労移行事業、就労継続支援B型事業、生活介護事業、相談支援事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、共同生活援助事業に加えて、地域共生社会の実現に向けた事業も実施する多機能な施設です。

理事長挨拶

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団

理事長 小谷敏弘

新年明けから、全国でオミクロン株による新型コロナウイルス感染症が急拡大し、緊張感が高まつた状況が続いております。

当法人といたしましても、感染防止に最大限の注意を払いながら、サービス提供に努めているところであり、利用者・保護者・関係者の皆様には、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年8月、徳島市国府町に建設していた地域生活支援拠点「ふらっとKOKUFU」が無事完成の運びとなりました。これもひとえに関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げる次第です。

緑の芝生が映える広々とした敷地に、県産杉の香りと明るい陽光に包まれた建物と、感覚統合器具や遊具、健康器具、食品加工設備などを整備しました。この新しい施設の機能や環境を活かして、利用者の方に寄り添った支援を充実し、障がいの種別や程度、身体能力に応じた個別プログラムや、芸術、スポーツ、デジリハなど多彩なプログラムを提供してまいります。「農福連携」により野菜の栽培や農産物の加工販売にも、職員が一丸となつて取り組んでいます。

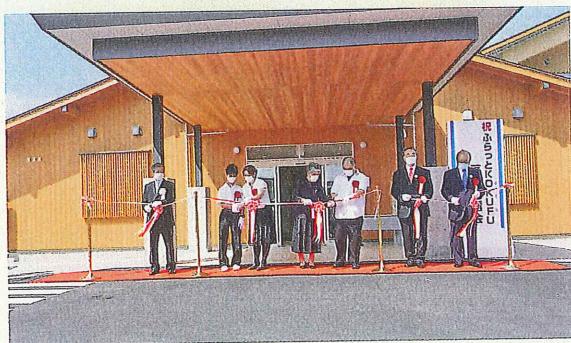
さらに、年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが自分らしく暮らせるような地域共生の拠点となるよう、「県版ユニバーサルカフェ」の認定を目指します。また、徳島市から「福祉避難所の指定」を受けており、自主防災組織と連携し、「地域の防災拠点」として、地域貢献ができるよう努めてまいります。

令和4年度は、法人設立50周年を迎えます。ふらっとKOKUFUを中心に、利用者の方や地域の皆様と共に歩みを進めてまいりますので、今後とも一層のご支援、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

ふらっとKOKUFU落成披露

落成披露の式典については、新型コロナウイルス感染症の感染対策に配慮しながら執り行いました。

8月22日、23日に利用者、保護者、地域の方々への内覧会を開催するとともに、8月18日に工事関係者等をお招きし竣工式を、8月31日には飯泉徳島県知事、岩丸徳島県議会議長をはじめ、関係機関、地元関係者等をお招きして落成披露会を挙行しました。



落成披露会テープカット



マイクロバスを寄贈いただいた希望の郷保護者会に感謝状を贈呈



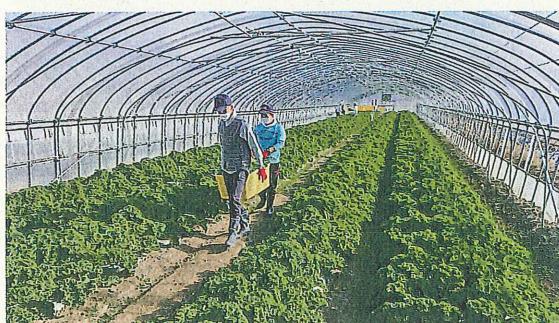
施設見学

ワーク&ディラクリエ



令和3年9月1日に希望の郷より、生活介護、就労移行及び就労継続支援B型が移転してワーク&ディラクリエが新設開所されました。生活介護では、個々の個性を生かした創作活動や健康器具を使った室内運動・理学療法士によるリハビリ体操等に力を入れています。就労では、農福連携にも取り組んでおり、地元農業団体より農地を借りじゃがいも・にんにく・たまねぎ・しいたけ・ケール等を栽培し、その後ふらっとラボ（加工室）で加工を行う6次化を行っています。

創作作品はエナジー展でエナジー賞・審査員特別賞を受賞、生産された作物等は県内量販店に並んでおり是非みていただきたいものとなっています。



児童デイ フラット未来



四国大学生との交流活動「クリスマス会」



希望ホーム

希望ホームでは、障がいのある方に対して共同で生活を営む住居で生活援助、相談支援を行っています。その中でも、新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら、いろいろなスポーツ大会や障がい者交流プラザで開催された「学びの講座」などに積極的に参加し、運動不足の解消や地域の方との交流を深める取組を行ってきました。

ふらっとホームが開所されたことにより、つながりの強い施設が増え、入居者のみなさんも喜んでいます。これからも施設間の交流等の取組を行っていきます。



令和3年9月に開所したふらっとホームは、夜間支援体制を整えたグループホームとなっており、地域で暮らす障がいの方を緊急時の場合、受け入れができる「短期入所」を開設しています。また、「国府町マルシェ」や「緩急走」などへの参加により地域の方々と交流ができるように取り組んでいます。

今後は、食事や洗濯といった家事訓練を強化し、自立した生活が営めるように支援を行っていきます。



相談支援事業所きぼう

令和3年9月に「ふらっとKOKUFU」に移転し、新しい体制での事業が開始しました。子供から大人まで切れ目ない福祉サービスの提供ができる多機能型事業所が併設されています。また、ワークライフバランスに配慮して、引き続き在宅勤務を取り入れ、フリーアドレス制の導入等で作業の効率化を図っています。相談支援専門員としてのスキルアップを図るために、研修等を通して専門性の向上を図り、地域共生社会における課題解決の礎となるように努めています。



ふらっとCafé



「ふらっとCafé」は、地域の交流拠点として「だれもが気軽にふらっと立ち寄り、分け隔てなく交流できる所」となるように、地域へ開放しています。地域の子育て家庭の集まりでの活用、スポーツ・芸術関係イベントの定期的な開催や、地域の幼稚園の遠足場所等として活用されています。

以前から国府町で開催されていた「国府町マルシェ」や、講師の方をお招きして実施した「コーヒーカップ絵付けワークショップ」「墨で遊ぶアート」、ゆるスポーツ等で使用されている「愛されるシート」を使った「緩急走スポーツイベント」等、様々なイベントを開催し、延べ1,000人を超える地域の方にお越しいただき、楽しんでいただいています。

地域共生事業の中心となる施設として、今後も継続したイベント等の実施により、地域のにぎわいの創出、まちづくりの核となるような施設を目指して運営していきます。

主なイベント等

- 10月17日（日） 国府町マルシェ IN ふらっとKOKUFU VOL. 1
- 10月27日（水） コーヒーカップ絵付けワークショップ
(講師：大谷焼 元山窯十代目 田村栄一郎 氏)
- 11月2日（火） 国府幼稚園遠足
- 11月21日（日） 緩急走等スポーツ大会（1日目）
- 12月17日（金）～12月21日（火）
Tokushima Flower Festival
- 12月18日（土） 緩急走スポーツ大会（2日目）
- 12月19日（日） 国府町マルシェ IN ふらっとKOKUFU VOL. 2
- 1月15日（土） 墨で遊ぶアート（講師：徳島県立近代美術館 龜井幸子 氏）



コーヒーカップ絵付けワークショップ



墨で遊ぶアート



フラワーフェスティバル



壁お絵かき



緩急走スポーツ大会（ブレイクショー）



緩急走



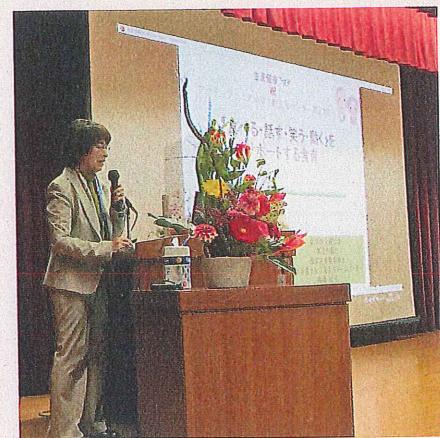
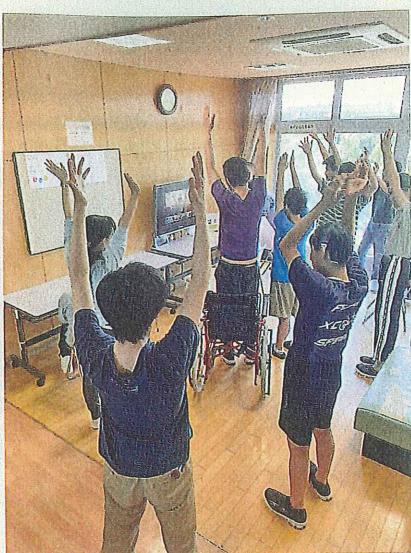
カフェ内

希望の郷

健康推進チームの取組

コロナ禍の影響により、社会全体は何かと制限がかかる生活が続きますが、利用者の方には、健康的に充実した楽しい生活が送れるようにサービス提供を中心がけています。具体的には、支援員をはじめ、管理栄養士、看護師、理学療法士といった多職種の集まるチームにより、ICTを駆使したオンライン体操やラジオ体操、パタカラ体操（嚙下体操）、座位姿勢をテーマに個別的な姿勢修正といつたことをもとに転倒予防や誤嚥予防に努めています。

引き続き、笑顔あふれる生活を「健康」から提供していきたいと思います。



生涯健康フェア
「フレイル予防」をテーマに開催



令和3年12月5日、「人生100年時代の健康づくり」を目標に、徳島県、徳島県社会福祉事業団及びくしま・あい・ランド推進協議会主催による生涯健康フェアが開催されました。

今回の開催テーマである「フレイル予防」は、早くフレイル（虚弱）の兆候に気づき、「栄養・運動・社会参加」の3つの柱を一体的に実践することが重要と言われています。フェアでは、食育講座やアワティブシアの活動報告、記念講演では、百歳体操でフレイル予防として、体操実技を交えた講演が行われました。

また、特設ブースでは簡単にフレイル度が測定できる「フレイルチェックコーナー」や「啓発パネル展」を設け健康に関する情報が発信されました。

参加者からは多くの感謝の言葉が寄せられました。

総合福祉センター

e 未来 Kids クラブの活動

e 未来 Kids クラブでは、好きなゲームを利用・活用しながら、生

活の立て直し・思考や行動の切り替えの習得や特技を活かせることを目標としています。

現在、男子5名、女子2名の計7名で活動しています。月4回活動日を設け、四国大学との交流会も行っています。オンラインで全国の障がい者施設とも「ぶよぶよ」などで対戦しています。

引き続き、笑顔あふれる生活を「健康」から提供していきたいと思います。

障がい者交流センター

避難所開設訓練を実施！

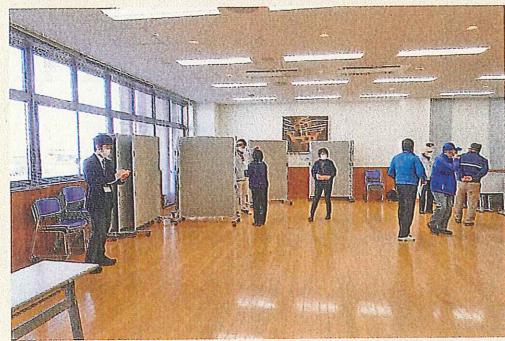
令和4年1月18日（火）午前10時より、徳島県立障がい者交流プラザ3階研修室において、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行つたうえで、加茂地区自主防災会の皆さんを中心に、受付訓練に特化した避難所開設訓練を実施しました。今後も様々な訓練を行い、災害に備えていきます。



訓練説明の様子



事前受付訓練の様子



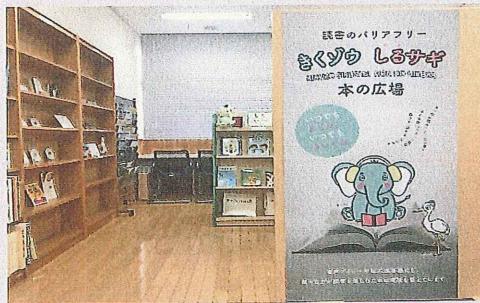
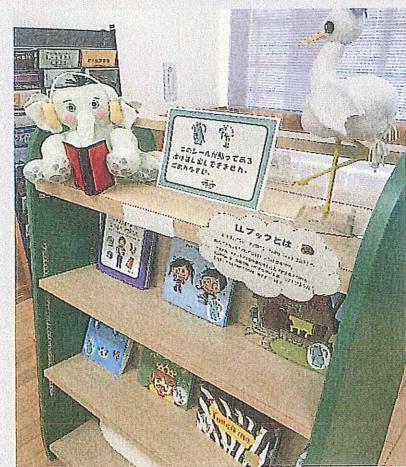
発熱者等専用スペース設営の様子



避難者名簿記入・受付訓練の様子

「読書支援コーナー」を開設

令和3年7月に、視覚障がい、学習障がいなど障がいにより読書が困難な方々の読書環境の整備を目指し、「徳島県読書バリアフリー推進計画」が策定されました。これを受け、バリアフリー図書や支援機器を、県民の皆様に広く知つていただき、必要な方が体験・利用していただけるよう、当センター内に「読書支援コーナー」を開設しました。名称は「読書のバリアフリー きくゾウ・しるサギ 本の広場」です。今後は、県内の公立図書館や学校図書館等と連携協力しながら、録音図書などのバリアフリー図書を、読書に困難を抱える方々へ啓発・利用促進に努めてまいります。



視聴覚障がい者支援センター

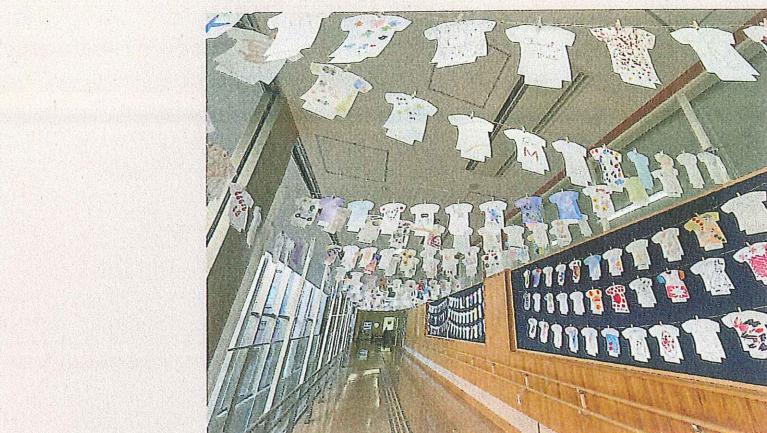
障がい者芸術・文化活動支援センター

全国公募「Tシャツデザイン展」を開催

令和3年8月7日（土）～9月29日（水）

「Tシャツデザイン展」を開催するにあたり作品を募集したところ、全国から425点の応募がありました。県内の専門家に依頼し審査を行った結果、優秀作品5点と佳作10点が選出されました。受賞者の皆様に賞状と記念品が授与されました。また、期間中は1階ロビーに優秀作品のデザインをプリントしたTシャツを展示、2階への階段及び2階プラザギャラリーに受賞作品と応募作品全てを展示し、多くの来場者に観覧していただき好評でした。

なお、10月から徳島県立総合福祉センター1階ロビーでも巡回展を行い、受賞作品とTシャツの展示、デジタルサイネージでプラザギャラリーでの展示の様子を上映しました。



「第1回 特別支援学校対抗ボッチャ大会」を開催

日時：令和3年11月16日（火）

場所：吉野川市民プラザ アリーナ棟メインアリーナ

東京2020パラリンピック競技大会開催年を機に、パラリンピック正式種目であり、誰もが楽しむことのできる「ボッチャ大会」を徳島県内の特別支援学校の生徒及び教員等を対象に開催しました。またコロナ禍でも参加しやすいように、徳島県教育委員会・特別支援教育課にもお手伝いをいただき、オンライン・ターゲットボッチャも同時開催しました。

ボッチャの部・出場チーム10チーム

